

～将来の夢はプロ野球選手～ 全国中学生野球大会で優勝

10月8日から10日にかけて千葉県で開催された「第6回K B全国中学生秋季野球大会」に、兵庫県選抜チームの一員として出場し、全国優勝を果たされた東条中学校3年生の岸本光希さん(秋津)が、10月14日に市役所を訪問し、安田市長に優勝の喜びを報告されました。

広い守備範囲や俊足を誇る岸本さんは、準々決勝、準決勝に内野手として出場。持ち前の堅実な守備だけでなく、安打も記録されるなど活躍されました。

岸本さんは、「全国大会で優勝できて、大きな自信となりました。高校では甲子園出場を目指し、ゆくゆくはプロ野球選手になれば」と、夢を語ってくれました。



～中世の伝統を引き継ぐ～ 上鴨川住吉神社神事舞

10月1日・2日、上鴨川住吉神社において、国指定重要無形民俗文化財である「神事舞」が奉納されました。

この神事舞は、約700年前から厳格な宮座組織によって受け継がれてきたもので、能楽の源流であるといわれています。

当日は、笛や太鼓の調べに合わせて、鳥かぶとに鼻高面をかぶって舞う「太刀の舞」や、「獅子舞」「田楽」などが奉納され、訪れた人々は幻想的な雰囲気に魅了されていました。



パワーリフティングで日本一



井上雄介さん(山国)が、10月1日・2日に横浜市で開かれた「第16回ジャパンオープンパワーリフティング選手権大会」男子一般の部66キロ級で、初優勝を果たされました。

井上さんは、3年前から練習を始め、独自のトレーニング方法で1年後には全日本大会で準優勝という快挙を達成。その後、神河町在住のスクワット日本記録保持者のもとで個人指導を受けながら、優勝を目指して練習に励んでこられました。今大会では、スクワット、ベンチプレス、デッドリフトの3種目で、自己ベストをわずかに下回ったものの、578.5キロをマークし、見事優勝されました。

井上さんは、「今年夏に崩れた調子も戻り、これからは日本記録の更新と世界大会への出場を目指したい」と意気込みを語られました。

携帯電話の使い方を学ぶ



お年寄りにも携帯電話の使い方をマスターしてもらおうと、やしる鴨川の郷により、「中高年のための携帯電話使い方教室」が開催されました。

参加者は、NTTドコモのインストラクターから、携帯電話のマナーや操作方法、詐欺に遭わないための対処法などについての指導を受けられました。

なお、この携帯電話講座は、12月13日、平成24年1月17日にも開催予定です。

問い合わせ やしる鴨川の郷 ☎45-0111

～勇壮な屋台練りや獅子舞を披露～ 佐保神社秋の大祭



10月9日、北播磨一の大神ともいわれる佐保神社で、秋の大祭が開催されました。

宮入りした新町、上中、上組、下組の4台の布団屋台が、伊勢音頭の拍子に合わせて「それ！サッ！ノセッ！」と担ぎ上げられるたびに、大勢の見物客から歓声と拍手が沸き起こりました。

このほか、子ども神輿、上田獅子舞保存会、大門獅子舞保存会による獅子舞の奉納や、少年剣士による奉納試合も行われました。

空手大会で活躍

10月2日に開催された「ポイント&ko中国選抜少年少女空手道選手権」において、小学校一年生女子の部で小寺もとこさん(滝野東小・写真左)、小学校六年生女子の部で井上につきさん(社小)が優勝されました。



おめでとうございます。

善意の寄付



9月21日、国際ソロプチミスト北播磨からケアホームかとうに、シャワーいす2台を寄贈いただきました。

ありがとうございます。

ご長寿をお祝い



9月25日に藤本ふく彥さん(松尾・写真右)、吉田いわのさん(高岡)が満100歳を迎えられ、市からお祝いをお贈りしました。これからもお元気で過ごしてください。

郷土の歴史に触れる



10月27日、滝野東小学校の4年生約110人が、「加古川舟運」の中継地として栄えた新町の船着場跡や、地区に残る当時の資料などを見学し、郷土の歴史を学びました。

白井操さん講演会「食べものが教えてくれること」

10月19日に兵庫教育大学で、市・兵庫教育大学連携プロジェクト(食育)の一環として、料理研究家・白井操さんによる講演会が開催されました。



ひょうご「食」担当 参与も務められる白井さんは、オリジナルレシピを交えて兵庫県や加東市の食材の魅力を紹介されたほか、「食」を通じた人と人との繋がり大切さなどについて講演されました。

受講者からは「改めて兵庫に住む幸せを実感した」といった感想がでるなど、実り多い講演会となりました。